



## 家庭教育委員会だより

No. 7 2017/1/16

会長 後藤 裕香  
校長 吉田 秀敏  
家庭教育委員会  
委員長 神田 優子

家庭教育委員会 2016年度テーマ 「共育！協育！～ひかる未来へつなげよう～」

### 平成28年度第3回家庭教育学級 実施報告

#### 「みんなちがってあたりまえ～個性との付き合い方～」

第3回家庭教育学級「みんなちがってあたりまえ～個性との付き合い方～」が12月17日(土)に開催され、講師に、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」スタッフをお迎えし、大変密度の濃い時間を過ごしました。前回、前々回に続き世田谷区教育委員会からは、社会教育指導員の杉本一郎先生、本校からは吉田秀敏校長先生、金子佳生副校長先生にお越しいただきました。

今回はご夫婦での参加も含め22名の皆様にお越しいただきました。師走の慌ただしい時期にご参加くださった皆様、ご協力くださった皆様、先生方、本当にありがとうございました。

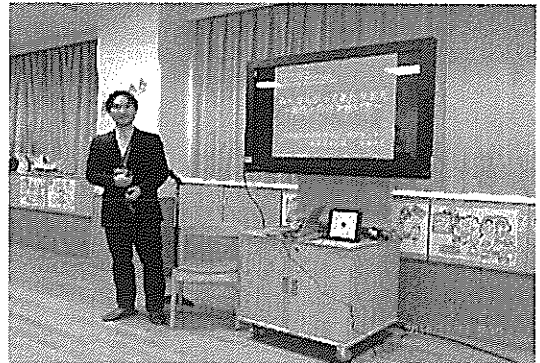
#### ◆世田谷区発達障害相談・療育センターって？ ※発達障害とは主に広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害・学習障害を指します。

- ・「ちょっと気になる…」という電話相談、来所相談に答えたり、情報提供を行う。
- ・講演会、出前型学習会、研修会を開催する。
- ・施設見学や家族支援を行う。

※世田谷区内在住のどんな人でも(大人も子どもも)相談できる場所。

#### ◆付き合い方を考えなくてはいけない個性って？

- 個性とは「他者と比較した際に際立つ、ユニークな特徴」である。  
その中でも、プラスの意味ではなく、フォローするように「あの、個性があるね…」という言い方をする場合である事が多いのではないかな。つまり…



- ①「当然できること」が多くの人と異なる(読み書き・人付き合い・自己調整など)
- ②多くの人が見ないことをする(多動・多弁・衝動性・奇異な行動など)
- ③表面的にはできているが理解が独特(負けたほうが楽しい、許しがたいことでも謝れば許してもらえると考えているなどなど)

例:人が亡くなったのが悲しいことだと理解できない/通りすがりに窓のカギを全部開けるが本人は自覚がないなど

#### ◆提案:個性＝ユニークな特徴＝異文化ととらえませんか！？

- 多数派仕様の社会(右利きの人が多いから改札は右側に切符を入れる場所があるなど)の中で、ユニークな特徴は理解や受容されにくい！→→異文化と捉えることで、価値観を強要しないで、あるがままを受け入れる。  
※ユニークな特徴を持つ人の中には、発達障害の方も、そうでない方もいるので、安易に素人判断をしないこと。

#### ◆ユニークな特徴には、環境も影響する

- 環境を変えると、好ましいまたは穏やかな行動に変わることもある。＝「環境調整」

※全てが変わるとは限らないけれども、変わることも多い。

例:白いごはんしか食べなかった園児が、幼稚園という環境に慣れることにより食べられる食品が増えた/前述の、通りすがりに窓のカギを開ける子どもは、ストレスがかかっていないときは鍵を開けないなど

行動 = 個性 (ユニークな特徴) × 環境  
そして 「環境」には、周囲の方のかかわり方なども含まれる = 「理解」と「受容」

◆環境調整のカギは「安心」と「わかりやすさ」

- 受容・共感を示す ○指示/説明の視覚化(文字や写真) ○「短く」「具体的で」「明確な」指示 ○こまめな声掛け
- 事前の予告(見通しを伝える) ○整理整頓(余計な刺激…気が散る元の排除)

◆目に見える行動や言動には「背景」がある

- 目に見える行動=ユニークな特徴⇒集団行動が苦手/かんしゃくが激しい/落ち着きがない/最後まで話を聞けない
  - 目に見えない部分=子どもの事情⇒まわりが見えていない/動いている方が落ち着く/なんて話してよいかかわからない
- ☆背景を考えると、これまでと違った切り口の解決法(環境調整)が見つかり、お互いが困らない道への突破口となる！

◆個性と上手に付き合うコツ

- 【第一に】より良い理解…ユニークな特徴の理解/背景にある気持ちを考える/いいところを探す⇐なるべく良心的に
- 【第二に】受容と共感…まずは相手の立場を受け入れる
- 【第三に】提示と合意…押しつけではなく「こうしてはどう？」と提案をしてみる/粘り強く交渉をする
- 【最後に】完璧を求めない！…ギリギリセーフでも、セーフには変わらないから、それでOK！

「お互いがすごしやすい環境に調整すること」「相手を尊重する気持ち」が大切である。  
お互いに受け入れて話し合い、妥協点を見つけてみよう！

◆それでも困ったときは…

いろいろ試してみたけどどうもいかない…家族にわかってもらえない、一所懸命やっているけどどうもいかない…  
と困った場合は、自分の知っていることだけで判断せずに専門家に相談してみる。

☆相談先⇒「げんき」電話相談受付専用番号 = 03-5727-2236☆

参加者アンケートより

- ・寄り添いつつ関わっていききたい。 ・子育てのよいヒントになりました。 ・こういう講座にどんどん参加し学んでいきたい。
- ・私は自分の子どもとほかのお子さんを比べてしまうのでよくないと思いました。個性を大事にしたい。
- ・具体例をたくさん説明してくださって理解しやすかったです。 ・ギリギリセーフでOKに気持ちが楽になりました。
- ・子どもに対してだけでなく、大人の社会でも十分に実行できる内容で大変為になりました。
- ・難しいテーマなのに話の雰囲気がよく間違い探しをしたり自分も「参加」している感が強く残る良い会でした。
- ・個性というのは本当に難しいということを教えてもらい身に染みました。

～「みんなちがってあたりまえ～個性との付き合い方～」を開催して～

今回のテーマについて「げんき」の皆様にお話しを依頼したのは、私たち家庭教育学級委員が実際に直面し、知りたい！と思ったことからでした。ユニークな個性を持つ子ども達と、お互いを認め合う付き合いをするにはどうすればよいか、これはある特定の子どものみではなく、すべての子ども達、ひいては全ての人と尊重し、認め合う付き合い方だということ学びました。騒音の苦情で保育園が建てられない、電車の中でぶつかったことで喧嘩になり傷つけてしまう等、互いの理解不足や不安などの原因により様々な問題が起きています。おりしも日本では2016年4月、「障がい者差別解消法」が施行され、すべての人が分け隔てされることなく共生する社会の実現を目指しています。子ども達が、成長していく中で出会う多くの人々と、お互いに高めあい認め合える素敵な人間関係を作れるよう、私たちも人との関わり方を考え、時には相談し、子ども達と共に成長すること、そして互いに理解し受け入れていくことが必要だと感じました。

家庭教育委員会(1-1 大橋、2-1 根本、3-1 神田、4-1 片岡、5-1 関、6-1 甲斐)

平成28年度の家庭教育学級は、第3回を持ちまして終了致しました。多数のご参加、ご協力賜り、誠にありがとうございました。次年度も引き続きまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。